

「知的財産による競争力強化専門調査会」
第一回会合開催に当ってのご挨拶

平成19年8月30日
JFEスチール(株)
常務執行役員
関田貴司

今回、本専門調査会委員に就任しましたJFEスチール関田です。
本日は、万やむを得ず欠席させていただく中、誠に失礼ながら本書面をもってのご挨拶とさせていただきます。宜しくお願いいたします。

特に今回、環境PT主査も担当させていただくことになっておりますが、私は、会社では、環境技術を含む技術全般、知財などを担当し、また、鉄鋼連盟等業界団体の中でも、環境分野や知財分野の副委員長や委員を担当しつつ、行政との各会合や、世界各国の鉄鋼メーカーとの国際的な交流にも出席させていただいており、結果として、今回の委員就任に繋がったのであれば、大変光栄な次第です。

日本の鉄鋼メーカーは、ハイグレードの商品群や、品質の高さ、およびそれらを実現する各プロセスにおける高い技術力が競争力の源泉となっています。

さらに環境技術でも、世界最高の技術力を誇っております。
省エネ・CO2排出抑制技術、副産物活用技術、環境汚染物質排出抑制技術、廃棄プラスチックの有効活用、環境にやさしい商品群等、世界的には最先端です。

ただ、環境規制レベルや枠組みの違いにより、この分野の技術優位性が全て、必ずしも競争力格差に繋がっていない実情もあります。

今後、世界的にみて、CO2排出抑制、環境汚染物質抑制が注目される中、日本の環境技術優位性が、今後の日本鉄鋼業の更なる競争力向上に繋がる可能性は、大変高いものと考えています。しかし、現状では、

- ・環境に関わる規制や枠組み等、土俵が国や地域によって共通でないこと、
- ・一方で、環境技術は、多岐に亘る技術であるため、その知財権を世界的に十分確保しきれていないこと、

といった課題があります。

このような課題認識のもと、今回、このような専門調査会に参画させていただき、各業界の有識者や学識経験者の皆さんと、有意義な情報交換やディスカッションをさせていただくことに感謝申し上げます。有意義な提言に繋がっていただければと考えております。

今後、何卒、宜しくお願いいたします。